

概ね5年で実施する取組のフォローアップ

取組項目	課題	目標時期	留萌振興局		留萌開発建設部		旭川地方気象台		増毛町		小平町		苫前町	
			令和元年度 実施した取組	令和2年度以降 の取組予定	令和元年度 実施した取組	令和2年度以降 の取組予定	令和元年度 実施した取組	令和2年度以降 の取組予定	令和元年度 実施した取組	令和2年度以降 の取組予定	令和元年度 実施した取組	令和2年度以降 の取組予定	令和元年度 実施した取組	令和2年度以降 の取組予定
① 円滑かつ迅速な避難のための取組														
①-1 情報伝達、避難計画等に関する事項														
洪水時における河川管理者等からの情報提供 (ホットラインを含む)等の内容及びタイミングを確認	A	継続実施	町村等関係機関との連絡先、連絡系統 (ホットラインを含む)について双方確認 し、関係資料の整理を行った。	ホットラインによる情報提供内 容の拡充について検討するな ど、引き続き、関係市町村との 情報共有や連絡体制の確立 を図る。	防災・災害対応説明 会を開催し、リエンの 体制を確立	引き続き実施	気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意 期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値等について危 険度を色分けした時系列で提供している。 ・5日先までの「早期注意情報(警報級の可能性)」を提 供している。	継続実施、必要に応じ て改良。	国土交通省の「川の防災情 報」等により情報収集に努め る。	継続実施				
避難勧告等の発令対象区域、発令判断基準や タイムラインの作成等	B	継続実施	平成30年7月に試行運用を開始した苫前 町古丹別川及び三毛別川に係る水害対 応タイムラインについて、「避難勧告等に関 するガイドライン(内閣府：H31. 3)」を参考に新たに作成。	令和3年度の本格運用に向 け、新たな情報提供や課題等 が抽出された場合は、双方で 情報共有し改善点等整理に 協力する。			避難勧告等の発令基準の検討の支援を行っている。	継続実施。	計画に基づき確認している。	継続して計画に基づき 確認する。				
水害リスク情報の提供 危機管理型水位計の整備や活用の検討	C	継続実施	簡易型河川監視カメラについて関係市町 村と協議し、13箇所設置した。 危機管理型水位計を19箇所設置した。	簡易型河川監視カメラ設置箇 所に水位の状況判断のための 量水標を13箇所設置予定。			・3時間先までの雨量予測に基づく「洪水警報の危険度分 布」をホームページ等で提供している。 ・6時間先までの流域雨量指数の予測値を気象庁防災情 報提供システムで提供している。	継続実施、必要に応じ て改良。	(水位計を2基設置) ①岩老川イワイ橋 ②岩別川岩別橋	関係機関と連携し情報 共有に努める。	未実施	道設置の水位計の活用 方法について検討予 定。	水位計の活用方法につ いて検討を行った。	引き続き、活用方法に ついて検討を行い、住民 への水位計の活用等の 周知等を行う。
住民等へ適切かつ確実に情報伝達する体制や方 法の改善・充実	D	継続実施	水位周知河川の指定促進のため、初山別 川について詳細調査を実施。	遠別川、ロクシナイ川について 詳細調査を実施し、結果に基づ き、関係町村と協議を行う。			・危険度分布における危険度の高まりをプッシュ型でスマート フォンのアプリやメールで通知するサービスを、気象庁の協力 の下で民間の協力事業者が開始。(令和元年7月～) ・台風の接近等による大雨等により顕著な災害の発生が想 定される、あるいは既に発生している際に、気象庁が持つ危 機感をより効果的に伝え防災行動に役立てていただくため に、気象庁防災情報Twitterアカウントを新たに開設し運用 開始。(令和元年10月～)	継続実施、必要に応じ て改良。	住民等への周知方法につ いて検討・調整	継続して調整する	防災行政無線及び広 報車両・消防車両等が 巡回する際住民に配慮 した速度と放送内容の 簡潔化を実施した。	前年度の取組を継続実 施する。		
広域避難体制の維持・構築や、要配慮者利用施 設等における避難計画作成・訓練に対する支援 等	E、F	継続実施					避難計画作成・訓練に対する支援を行なっている。	継続実施。	地域防災計画を確認。	関係機関と連携し情報 共有に努める。	未実施	避難訓練の実施につ いて検討する。		
①-2 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項														
想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図 等の情報共有	G	継続実施							ハザードマップの大雨時危険 区域図を確認。	継続して確認を実施す る。				
ハザードマップの作成等	H、I	継続実施							H29年度に作成したハザ ードマップを、随時、転入した町 民に配付した。	引き続き実施予定。				
避難訓練の実施や防災教育の促進	J、K	継続実施							毎年9月1日に防災訓練を 実施している。	引き続き実施予定。	学校、町内会単位での 避難訓練を実施。	防災教育や避難訓練 の実施について検討す る。		
①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項														
避難路等の整備等	L、N	継続実施	簡易型河川監視カメラの設置予定	簡易型河川監視カメラ設置箇 所に水位の状況判断のための 量水標を13箇所設置予定。										
危機管理型ハード対策や堤防整備、河道掘削等 の実施	M	継続実施	堤防整備・河道掘削等	堤防整備・河道掘削等										
② 的確な水防活動のための取組														
②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項														
重要水防箇所の見直しや、危険箇所の確認	O	継続実施	苫前町内の古丹別川、三毛別川において 重要水防箇所の合同点検を実施。	他の管理河川における重要水 防箇所の点検について関係機 関と協議の上実施予定。					見直しの必要があれば随時 検討	見直しの必要があれば 随時検討	管理者へ適切な種門・ 種管操作について通達 した。	管理者へ適切な種門・ 種管操作について通達 する。		
水防資機材の整備や情報共有	P	継続実施	防災資材の購入		防災資機材について、 関係機関と備蓄に関す る情報を共有	引き続き実施			消防との情報共有。	消防との情報共有。	町保管の防災資機材に ついて関係機関と共有 した。	町保管の防災資機材に ついて関係機関と共有 する。		
各機関と連携した水防訓練や水防に関する広報 の充実	Q、R、S	継続実施			令和元年7月17日水 防技術講習会を実施	引き続き実施	実施なし	関係機関と連携し訓練 や講習会に協力。	未実施	消防と連携して検討す る。	未実施	出水期の警戒につ いて広報周知等を検討す る。		
②-2 市町村庁舎等の自衛水防の推進に関する事項														
市町村業務継続計画(BCP)の策定や、代替 庁舎等による対応	T	継続実施	災害により庁舎が使用できなくなった場合 でも、業務の継続性の確保等を図るため、留 萌高校の校舎の一部について活用できるよ う留萌高校と「災害発生時における留萌合 同庁舎の代替施設使用に関する協定」を 締結した。 留萌管内防災行政ネットワーク連絡会議 で市町村業務継続計画(BCP)の策 定方法について情報提供を行った。											
③ 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組														
③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項														
排水施設等の情報共有や点検・改善の実施等	U	継続実施			令和元年7月17日 (留萌市)災害対策 用機械操作訓練を実施	引き続き実施			改善の必要があれば随時 検討	改善の必要があれば 随時検討	有事の際に使用でき るよう、適切に管理した。	有事の際に使用でき るよう、適切な管理を 実施する。		
④ その他														
④ その他														
技術研修会の実施や連絡会議等による情報共有	V、W	継続実施	各機関と情報共有を図るため、留萌管内 防災行政ネットワーク連絡会議を開催し た。	年に数回、留萌管内防災行 政ネットワーク連絡会議を開 催する予定。	TEC-FORCEの技術 研修会を実施	引き続き実施	令和元年5月28日、留萌管内防災行政ネットワーク第 1回連絡会議にて気象防災に係る情報提供実施。 ・令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会にて気 象に関する講演実施。 ・令和元年9月2日に留萌管内市町村防災担当職員を 対象に中小河川の氾濫を想定したワークショップを実施。	継続実施。		継続して情報共有を図 る。	連絡会議に参加し、情 報共有した。	連絡会議に参加し、関 係機関と連携を図る。		

取組機関		羽幌町		初山別村		遠別町		陸上自衛隊		北海道警察		増毛町消防本部		留萌消防組合		北留萌消防本部			
令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定	令和元年度実施した取組	令和2年度以降の取組予定		
情報の共有、構築状況は確認している。	継続して確認を実施する。			「川の防災情報」等により確認した。				随時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持。	継続実施する。	国土交通省の「川の防災情報」等により情報収集に努める。	国土交通省の「川の防災情報」等により情報収集に努める。	出水期前に北海道防災情報及び川の防災情報により水位情報を確認した。	継続実施。	国土交通省の「川の防災情報」等により水位情報の収集に努める。		引き続き実施予定。			
計画に基づき確認している。	継続して計画に基づき確認する。		タイムラインの作成について検討予定。		タイムライン作成について検討予定。			各署員に対して、災害発生時の対応について教養を実施。	継続実施する。										
危機管理型水位計について活用を検討。	危機管理型水位計について活用を検討。		水害リスク情報の提供（警戒レベルを用いた避難情報を住民へ周知）		振興局と共同で危機管理型水位計について設置箇所を検討した。		水位計の活用方法について検討予定。												
住民等への周知方法について検討・調整。	継続して調整する。				情報伝達方法等について検討予定。			交番員、駐在所員を中心に、避難所・避難経路の周知を回り、住民等への情報伝達要領について教養を実施。	継続実施する。			町防災担当課との情報共有及び要請により消防車両広報を実施した。	継続実施。						
留萌管内8市町村災害時相互応援協定に基づき、連携。	継続して留萌管内8市町村災害時相互応援協定に基づき、連携を図る。				自主防災組織が訓練等を実施する場合に支援する。		防災訓練への参加	継続して実施				地域防災計画を確認した。	関係機関と連携し情報共有に努める。	地域防災計画を確認した。	関係機関と連携し情報共有とともに、避難訓練等へ協力する。				
関係機関と情報共有	関係機関と情報共有を図る。				関係機関と情報共有を図る。		ハザードマップを活用した訓練を実施	継続して実施				ハザードマップの大雨時危険箇所図を確認した。	町が配布したハザードマップにより情報共有を図る。	小平町防災マップの大雨時危険区域図を確認した。	継続実施。	防災関係機関と連携し情報共有に努める。	引き続き実施予定。		
作成したマップを、全世帯へ配布済。	完成後に、広く活用する。				洪水氾濫危険区域図を使用してハザードマップを作成した。														
羽幌小学校へ防災教育（防災全般）を実施。	今後も継続して実施する。	1日防災学校の実施。	自主防災組織において防災訓練を実施予定。		訓練実施の検討予定。		防災訓練への参加	継続して実施	今年度の取り組みはなし。	自治体主催の防災訓練への参加や小学校等における防災講話を実施する。		9月1日に地震・津波を想定した全町防災訓練に参加した。	避難訓練・防災教育等の要請があれば実施する。	連合町内会主催の防災訓練に参加協力した。	継続実施。	町の防災訓練を通じての防災講習及び住民への注意喚起の実施。	引き続き実施予定。		
整備に係る情報共有を図っている。	今後も継続して整備に係る情報共有を図り、有効な活用手段等を検討する。				避難路の整備について検討予定。														
見直しの必要性を検討	継続して見直しの必要性の検討や危険箇所の確認を関係団体と協力して実施。		重要水防箇所の点検を行った。				重要水防箇所の確認予定。			災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施。	引き続き関係機関と連携し、重要水防危険箇所の周知徹底を図る。	実災害時、災害発生危険箇所を重点的に調査した。	関係機関と連携し、重要水防箇所の情報共有を図る。	町防災担当課と情報共有を図っていく。	関係機関と合同で、重要水防箇所の共同点検（目視）を実施。	引き続き実施予定。			
消防署と連携し、整備の推進や情報共有。	継続して消防署と連携し、整備の推進や情報共有を図る。				水防資機材について情報共有する。							保有資機材の点検確認を実施した。	作成済みの土の引については、毎年点検を行い役場関係部局へも情報提供を行う。	町防災担当課と情報共有するとともに消防で管理している資器材の在庫調査及び点検を実施した。	継続実施。	消防で管理している水防資機材の整備や維持管理の徹底。	引き続き実施予定。		
未実施	今後も消防署と連携して検討する。				広報資料等を配布する。		防災訓練への参加	継続して実施		各交番、駐在所作成のミニ広報誌により、地域住民全体に広報を実施。	引き続き、ミニ広報誌による広報を実施、各自治体主催の防災訓練に参加する。	留萌市にて開催された北海道開発局が主催した北海道地区水防技術講習会に参加した。	消防団と連携し、水防訓練を実施。災害時の広報要領について、さらに検討を進める。	北海道地区水防技術講習会に参加した。	消防団と連携して実施できるよう検討する。	町防災訓練で消防団と協力した水防訓練を実施。	引き続き実施予定。		
					業務継続計画の策定について検討を予定。					随時、災害警備計画の更新を実施。	引き続き、災害警備計画の更新を行う。								
改善しの必要性を検討	継続して点検、改善の必要性を検討		排水施設等の点検を行った。		排水施設等について情報共有する。									留別川・信砂川の樋門の点検を実施した。	河川樋門の点検を実施し、管理者に対して、適宜必要な修繕を実施するよう促す。	町防災担当課と情報共有した。	継続実施。	各町村の防災機関と情報共有を図る。	引き続き実施予定。
連絡会議に参加し情報共有した。	継続して情報共有を図る。				関係機関と情報共有する。		連絡会議に参加し情報共有	継続して実施		連絡会議等に参加し、情報共有を実施。	引き続き、連絡会議等に参加し、情報共有を行う。	留萌管内防災行政ネットワーク連絡協議会により情報共有を図る。	同左	連絡会議に参加し情報共有した。	継続実施。	連絡会議に参加し情報共有した。	引き続き実施予定。		